

# シリーズ⑤ おいどんがふるさと 柗野区

さつま町内の20区公民館が取り組んでいる特色ある活動、イベントなどを紹介しています。



館長 玉利日出夫さん

柗野区は、さつま町の市街地から北へ約12キロメートルに位置し、出水郡との境にあります。紫尾山を背にしていることから急傾斜地が多いため、平成12年から始まった「中山間地域等直接支払制度」を活用しており、対象面積は田の急傾斜地と緩傾斜地を合わせて31.9haあります。

かじかカエルの鳴く里として知られる柗野区では、「春のお花見会」「ひがん花祭り」「鬼火たき」「仏飯講」など各種イベントが地域一体となって行われています。



◆人口 247人、世帯数 103世帯、公民会数 2公民会

文化財



柗野のグラウンドの上にある「南方神社」は、昔から農耕と武運の神として崇められています。江戸時代は「諏訪神社」と呼ばれ、明治以降から「南方神社」と呼ばれるようになりました。

また神社では、馬頭観音祭や二十日祭も行われています。

景勝地



柗野の入口の高台にある旧柗野下公民館からは柗野区を一望することができます。

また、冬にこの場所から見られる雪化粧をした雄大な紫尾山は絶景です。

イベント



毎年9月23日に開催する「ひがん花祭り」は、ひがん花散策や郷土芸能の披露、地元農産物販売などが行われ、会場は町内外からの多くの来訪者で大いに賑わいます。柗野小学校の児童による名所案内も好評で来訪者に喜ばれています。

地域活動



ひがん花祭りに向け、春にはひがん花の球根の植え付け、秋には散策地の草払いなどを区民全員で行っています。また、前日から女性部が「味噌びら」を料理するなど、地域一体となった活動が行われています。